

Well come うえるかむ

山形に避難されている方へ伝えたいメッセージ

CONTENTS

- ・復興ボランティア支援センターやまがたオープン
- ・福島県情報 相談窓口
- ・宮城県情報 山元町で慰霊イベント
- ・山形県情報 フリートーク開催/空気神社参拝/米沢市で盆踊り
- ・おすすめ情報 ・みんなの声 ・リレー応援エッセイ
- ・ひと休み ・編集後記

第1号

つながろう! ささえあおう!
復興支援プロジェクトやまがた
TEL023-674-7311
E-mail kizuna@yamagata1.jp
発行数: 1,000部

WELL COME YAMAGATA! COMMUNICATION FREE PAPER.

復興ボランティア支援センターやまがたオープン! 山形から復興にむけて長期的な支援を

ただだ支援の手が必要な状態が続いています。そのような状況の中、震災直後から支援活動を継続しているNPO三団体と山形県の県民活動の担当課が、長期的な支援を視野に入れた事業を開始しました。



震災から五カ月が過ぎ、雪の降るあの寒い夜から酷暑の続く季節へと変わりました。しかし、復旧から復興へと歩みを進める中で、未だ生活に苦難を強いられている方々、泥かきが必要な家屋、そして放射線から身を守るため避難される方々など、ま

この「うえるかむ」は、避難されている方の支援をおこなう団体や個人の協力のもとで毎月二回発行していきます。みなさんのお役に立てるような情報をできるだけ多く発信していきたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。

事業名は「つながろう! ささえあおう! 復興支援プロジェクトやまがた」。平成二十三年度新しい公共の場づくりのためのモデル事業として補助を受け、本支援センターの運営とボランティア啓発活動、避難生活支援活動をおこなっていきます。



ボランティア募集情報や、避難されている方向けの生活情報を掲示しています! ご自由にお入りください。

閲覧用パソコンもあるよ!



■ 復興ボランティア支援センターやまがた

【住所】 山形県山形市松山3丁目14番69号 (FM山形ビル1階)
【TEL】023-674-7311 【FAX】023-674-7312 【E-mail】kizuna@yamagata1.jp
【開館時間】 10:00 ~ 16:30 【休館日】 土日祝日、年末年始、夏期休業
【ウェブサイト】 <http://kizuna.yamagata1.jp/> (モバイル閲覧可)
※ 駐車場に限りがありますので、乗り合わせ等ご協力ください

よろしく
おねがいします
~構成団体紹介~

「つながろう! ささえあおう! 復興支援プロジェクトやまがた」 構成団体

- NPO 法人山形の公益活動を応援する会・アミル
- ・・・NPO 支援をしている団体です
- NPO 法人ディー・コレクティブ
- ・・・災害支援をしている団体です
- NPO 法人 Yamagata1 (ヤマガタワン)
- ・・・情報支援をしている団体です
- 山形県 (生活環境部生活文化課県民活動プロスポーツ支援室)
- ・・・山形県の県民活動の担当課です

災害支援をおこなう複数の団体と連携しながら活動しています



From 福島

山形に避難したい方へ 相談窓口を開設

山形県内のボランティア団体「毎週末山形」は、福島県からの避難者の支援をおこなっている。

七月二十四日、山形県への避難希望者向けの相談窓口を、福島市内にて開催した。

会場では、避難者向けキャンペーンなどの週末避難や短期保養に関する情報が提示された。福島市、郡山市、二本松市、伊達市などの市町村から、三十人以上の家族が訪れた。

郡山市の三十代女性は、「進学を控えた小6と中3の子供がいるので、週末避難を活用しながら今後の事を考えていきたい。米沢市への移住も検討している。」と話す。

相談窓口は、今後もおよそ二カ月に一回の割合で開催する予定だ。
(佐藤)



From 宮城

宮城各地の支援と 山元町慰霊イベント

宮城県各地では、震災から今まで、山形から数多くの応援者や支援団体が通っている。



宮城県山元町の普門院では、津波により土砂がお墓の間や寺院内に積もり、お墓も数多く倒れた。お盆を迎えるにあたり、自衛隊やボランティアさんによる土砂の撤去や倒れたお墓の修復などの作業がすすめられた。

お盆には、全国から応援者が集まり、太鼓や踊りによる慰霊イベントが本堂で催された。山形県内からも応援者が山元町に集い、住民の方々とともに太鼓に聞き入った。

応援活動の内容は多岐にわたるが、今後も継続して数多くのボランティアバスが予定されており、引き続き山形県内外のボランティアを募集している。「隣県としてできることを、これからも続けていきます！」(遠藤)

おすすぬ情報

■葉っぱ塾・秋の子どもキャンプ2011

子どもさんを「葉っぱ塾」に「派遣」してみませんか？ ふだんの生活から離れ、親から離れ、少々不便な生活を子どもたちと一緒に送りたいと考えております。

日時：9月17日(土)午前11時～9月19日(祝)午後3時(2泊3日)
場所：長井市・白兔森林公園キャンプ場など

対象：小学校1年生以上中学3年生まで 6名

内容：畑を手伝う、食事をつくる、森を歩く、夜の森林公園探検、温泉に入る、山に登る、フリークライミング、長井街中歩き など(予定)

参加費：2泊3日 1人¥14,000(兄弟割引あり)。2人¥25,000

※詳細はお問い合わせください(チラシがあります)

お申込み：葉っぱ塾 八木文明 TEL 090-5230-8819

FAX 0238-84-1537 E-mail happa-fy@dewa.or.jp

■災害に備える食の知恵 「フライパン de パエリア」

日時：9月3日(土)午前10時～午後1時30分頃(受付9:45～)

場所：鶴岡市農村センター(鶴岡市矢馳字上矢馳258)

対象：30名様限定 参加料500円 要申込

お申込み：「映画『よみがえりのレシピ』製作委員会」

FAX 023-627-5152 E-mail info@y-recipe.net

お問い合わせ：090-2975-6174(鈴木・鬼島)

みなさまからの情報を寄せ下さい！

避難されている方に伝えたいメッセージ、サービス、イベントなど、避難されている方からの声や要望など、みなさまからの情報をお待ちしています。送ってくださる場合は、うら面の「復興ボランティア支援センター」まで。お待ちしております！

■石嶋ナギが山形にやってくる！！ 着物トークとサイン会

☆9月10日 ナギさんと着物を楽しむ～キモノトーク

☆9月11日 天童市広重美術館「江戸女・キモノファッションの法則」

★被災されて、着物を着られない方には、着物・浴衣をお貸して、

着つけのお手伝いをさせていただきます。事前にご連絡ください。

「きものアトリエのあ」※詳細はお問い合わせください

TEL/FAX 023-633-9902(留守番FAX常時設定)

■チェリアの相談案内

自分らしく、自立して生きていくうえで生じる様々な問題を一緒に考え、解決の方向を見つけるお手伝いをします。秘密厳守、無料です。

☆一般相談：TEL.023-629-8007(相談専用)

火・水・木・金 9:00～17:00 土・日・祝 13:00～17:00

☆専門相談(予約制・面接)：法律相談、こころの相談があります

「山形県男女共同参画センター『チェリア』」

場所：山形県山形市緑町1丁目2-36(遊学館2階)

連絡先：TEL 023-629-7751 FAX 023-629-7752

■あなたの地域でフリートークをしませんか

避難してきた方、地元の方、あなたの地域でフリートークをしてみませんか。いっしょに企画から協力してくれる方募集中です。(フリートークの内容は、上の記事をご覧ください)

「NPO法人 Yamagata1」(十元初ママフリートークの会)

TEL 090-7332-5411(海谷) E-mail mail@yamagata1.org

■「復興ボランティア支援センター」協力ボランティア募集

復興ボランティア支援センターでは、軽作業ボランティアを募集しています。震災支援団体のサポートや情報収集など、単発で間接的ではありますが必要な作業です。可能な方は、ぜひ表紙の支援センター連絡先までご連絡ください。

女性のための フリートーク 「地元の主婦と交流を」

「山形に初めて住む方同士の交流と、地元
の口コミ情報交換の場があれば」

そんな思いから、NPO法人 Yamagata
at a 1 と「元初ママフリートークの会」が、
七月二十八日と八月四日に「2DAYフリー
トーク」を開催した。

会場には、長期の避難所生活を送られて
いる方や、最近になって自主避難してきた
方などが参加し、小さい子を持つ方のため
に託児コーナーが設けられた。トークの中
では、「離れて暮らしているため、家族との
調和を保つことが難しい」「山形の情報がわ
からなくて困っている」「これからの生活が
不安」など、それぞれの思いや悩みを話し
合い、集まった地元の主婦からの情報に熱
心に聞き入っていた。

同会では、避難
者が増加している
ことから、フリー
トークを継続して
開催する予定だ。
(海谷)



Asahi自然観 「空気神社」で かけがえのない空気を参拝

去る七月二十九日、「エコ&ネイチャー
スクール葉っぱ塾」が主催したツアーに、
山形県川西町「おもいで館」に滞在中の
避難者3家族7人の方々が参加した。

ツアーでは、朝日町にある「Asahi
i自然観」を訪れ、空気を奉る「空気神
社」へ。五メートル×五メートルの巨大
なステンレス鏡面が、自然の姿(空気を
映し出す。参加者は、目には見えない
空気の大切さに深い感慨を持って参拝し
た。一行はこの後、蜜蝋燭(みつろうそく)
作りなどの体験をして、森林の中で盛り
だくさんの時を過ごした。

主催した「葉っぱ塾」の代表、八木文
明氏は、「おとなも子どもも森で遊べ」を
テーマに、山形県内外の人々を対象に自
然体験型の活動を進めている。(佐藤)

空気神社の鏡前で記念撮影



故郷の踊りで恩返し 米沢で南相馬の盆踊りを披露

米沢市中田平安の湯駐車場で七月十九
日、相馬盆歌による盆踊りが行われた。
南相馬市の有志による相双真心交流会に
よる太鼓や笛、三味線などの楽器が演奏
され、米沢近郊に住む南相馬市民は懐か
しい故郷の盆踊りを楽しんだ。

また、会場には日本民謡協会福島県北
連合会の皆さんも駆け付け、祭に花を添
えた。歌い手の一人南相馬市の笠間さん
は「福島県のみんなに元気を出してもら
いたい、そして山形県の皆さんにお礼が
したい。ただそれだけです。」と語った。
(伊藤)



■被災者の方への無料シャンプーサービス

- ☆被災3県の方々、頭皮ケア付きシャンプーブロー無料
 - ☆被災3県の未成年のかたシャンプーカット無料
 - ☆山形在住でもボランティア関係スタッフシャンプーブロー無料
- 身分証明は、自己申告とカルテ記入で結構です。
是非、疲れを癒しにいらして下さい。
「Hair with Water(ヘアウィズウォーター)」
住 所：〒990-0046 山形市大手町3-20
連絡先：TEL 023-633-0532 FAX 023-633-0532

■パソコン技術を活かせる在宅ワーク登録者募集

データ入力からホームページ制作まで、幅広くパソコンを使った在宅
ワークがあります。避難して来られた方は登録料などの経費を免除しま
す！作業用パソコン貸与します(先着5名様)。パソコン作業に興味のあ
る方、ぜひご連絡ください。

「AISOHO 企業組合」

住 所：〒990-0832 山形市城西町五丁目29番19号

連絡先：TEL 023-646-3274 FAX 023-673-0703

E-mail mail@aisoho.jp WEB http://www.aisoho.jp/soho/

■「こころ・ほへと・山形」KS フォトクラブ写真展

- 日時/2011年9月18日～9月25日(9/20火曜は休館日)
- 場所：山形県郷土館「文翔館」第5～7ギャラリー
(山形市旅籠町3-4-51) どなたでも入場できます





みんなの声

●山形は自然がいっぱい、素敵なところ。山形に来て、山形の良いところがいっぱい分かった。人と自然、色んな出会いでいっぱい元気をいただいた。震災と原発事故で大変な生活を強いられる事になったけど、色んな人との出会いは、決して悪いことだけではなかった。(福島市女性) ●山形市の花火大会、地理が分からないから霞城セントラルから見ようと思って早い時間から行ったら4階テラスにボサノバの生演奏付きの超快適な閲覧席を発見してラッキー！(福島市女性) ●山形子育て支援パスポート、住民票が福島にあるままでも発行して貰えたので、とても嬉しかった。(福島市女性) ●福島の家は墓は線量が2〜3Tokemaもあるのですが、今年のお盆は山形から福島に向かって手を合わせるだけになりました。(福島市女性) ●気軽に話せる人がいなくて毎日不安ばかりだったのですが、イベントでいろいろお話も聞けたし話せし、心が安らぎました。(福島市女性) ●小学校の時の同級生と赤湯の温泉で再会できました。全裸で：(南相馬市女性) ●避難先を米沢に選んだ理由ですか。ダンナの「ラーメン食べたい」の一言だったかも：(南相馬市女性) ●ずっとひきこもりになっていましたが娘の勧めで髪を染めたら気分が明るくなって出かけたくなりました。(浪江町女性)

集まることから始めよう

震災からもうすぐ6カ月、いろいろなことがありました。悲しいこと、つらいこと、そして新しい希望の光でもやっばり、まだまだ大変な時期は続きます。その大変さは、実際には体験されている方でなければわからないものだと思います。

私は、NPO活動の中で、少しでもみなさまのお役に立てればという思いで活動を続けてきました。まず自分なら・・・と考えた時、このような非日常の状態では山形に来た場合、どんなに心細いだろうと思いました。そこで始めたのが、「2DAYフリートーク」です。語り合うことで整理される気持ち、答えが見つかることで解消される不安があります。ほんの少しかもしれないですが、それで笑顔になってもらえたらと思います。活動を続けています。

今、たくさんの方が、山形県にいられています。不安のある方、同じ境遇の人と話したいと思う方が、あなたの周囲にもいるかもしれません。誰かが旗を振って、「集まろう」と呼びかければ、応える人はいるはず。趣味の会でもお話会でも、集まることから始めてみませんか。

(海谷美樹)

秋はやっぱり「いも煮」！ あなたはしょうゆ派？みそ派？

山形の秋の風物詩といえば、やっぱり「いも煮」。河原で気の合う仲間と囲むいも煮鍋は、また格別です。いも煮の作り方は、各地でさまざまですが、大きく分けるとしょうゆ味とみそ味があります。

ひと休み

しょうゆ味(内陸部)の材料(4人分)

里芋 640g / 牛バラ肉 320g / こんにゃく 1枚 / ねぎ 2本 / 水 6カップ / 砂糖 適量 / 醤油 適量 / 日本酒 適量

みそ味(庄内地方)の材料(4人分)

里芋 640g / 豚バラ肉 320g / こんにゃく 1枚 / 厚揚げ 1枚 / ねぎ 2本 / 水 6カップ / しめじ 適量 / みそ 適量 / だし醤油 適量 / 日本酒 適量

作り方

1. 具材を食べやすい大きさに切る。ねぎは大きく斜め切り。
2. 大きな鍋に水を入れ、ねぎ、しめじ以外の具材を煮えにくいものから順に入れて煮る。
3. 具材がやわらかくなったら調味料で味付けをし、しめじとねぎを入れてひと煮立ちさせて出来上がり！



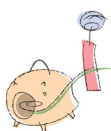
★しょうゆ味のいも煮は、みめにうどんやカレールーをいれて食べる人もいます。

★みそ味のいも煮は、隠し味に酒粕や岩のりを入れても美味。

～さあ、あなたはしょうゆ派？みそ派？どちらも美味しいのでぜひ作ってみてください～

支援センターのサイトをご覧ください → <http://kizuna.yamagata1.jp/>

編集部より



情報提供、活動協力など
お待ちしております

避難者向けフリーペーパー「うるかむ」

発行元：つなごろう！ ささえあおう！
復興支援プロジェクトやまがた
〒990-2412 山形県山形市松山三丁目14番69号
「復興ボランティア支援センターやまがた」
TEL 023-674-7311 FAX 023-674-7312
E-mail kizuna@yamagata1.jp
WEB <http://kizuna.yamagata1.jp/>

●先日福島市の避難相談窓口にきたお母さんが山形市に移住してきた。その方に当面必要な冷蔵庫と洗濯機の確保に助力してくれた有志の善意。ダブル嬉しい。(佐藤洋)

●311の震災と続く原発事故。一瞬の内に一変する日常、その無情さを前に人との繋がる強さ、これだけは強く信じたい。希望を虚しさに変えてはいけない。(影月)

●今年ほど特別なお盆となったことは無かった。非常に多くの御霊が彼岸に旅立った。生きられなかった人の分も生きる。今のところそれ以上の供養は見当たらない。(伊藤範)

●大震災で失われたコミュニティを取り戻すため、よりよい情報の橋渡し役になることが自分の役割だと思い、参加をさせていただいております。心の絆を大切に復興支援に邁進いたします。(金子裕行)

●笑顔ポロシャツを着ているとスーパードで福島の人を声をかけられることがあります。ちょっとうれし～(遠藤正則)

●やっと第一号完成。本当にお役に立てる新聞になれるよう、手伝ってくださる方は随時募集中です。(海谷美樹)